

# 食育関連事業取り組み事例

「第2次はこだてげんきな子 食育プラン  
(函館市食育推進計画)推進協議会」

主 体 名	函館市立尾札部中学校
連携機関・団体	南かやべ漁業協同組合
取り組みの名称	南かやべ昆布親善大使活動
函館市の食育推進基本目標	函館の豊かな食資源や食文化を通して食の大切さを知る
日時・内容等	<p>『南かやべ昆布親善大使活動』</p> <p>日 時 平成28年4月21日 1日間          場 所 仙台市 藤崎百貨店          対 象 仙台市民          参加人数 生徒23名・教員5名・漁協職員1名</p> <p>目 的          大消費地における地元の特産品や食資源（真昆布）のPR活動を通じ、旧南茅部町の中学生に地域の価値を再認識させるとともに、ふるさとへの誇りと自らへの自身をもった社会人として今後成長していくことを支援する。</p> <p>内 容          仙台市藤崎百貨店1F玄関前において、南かやべ漁協から提供された真昆布製品（試食用）200個を無料配布し、昆布の食べ方等の解説を（生徒作成のレシピ集・パンフレット）した。          また、地域（南茅部地区）の紹介と昆布の試食及び事業についての返信ハガキ、FAX用紙を配布し、感想を求めた。</p> <p>結 果          多くの皆さんから感想をいただきました。          特に、昆布の産地は利尻・羅臼・日高と思っていたが、試食後、函館で出汁の濃い真昆布があるとは知らないとの声が多かった。又、地域の学生さんが自ら食資源のPRを懸命に行っている姿に感動された意見も寄せられました。          仙台市の河北新聞や地元函館新聞にも掲載され、今回の事業は大いなる成果があり、今後も継続的に実施されることを期待しております。</p>

※函館市ホームページでの公開の可否（  可 ・ 不可 ）